

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
該当なし
- (2) 固定資産の減価償却について
該当なし(内規による)
- (3) 引当金の計上基準について
退職給与引当金、事務所費引当金は、予算にもとづき特定預金として積み立てている。
- (4) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、未払費用、買掛金、預り金、仮受金。
なお、前期末および当期末残高は下記のとおり。
- (5) 消費税等の会計処理について
該当なし

2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおり。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
預金	9,701,151	35,367,387		45,068,538
特定預金	2,500,000	0	0	5,500,000
未収金	4,705,525		128,905	4,576,620
前払金		57,700		57,700
仮払金		113,277		113,277
買掛金		23,674,442		23,674,442
未払金	6,259,862		4,730,933	1,528,929
未払費用		551,524		551,524
預り金	658,230	71,533		729,763
仮受金		3,548,000		3,548,000
固定資産	884,730	0	0	884,730
基本財産額	8,413,314	12,254,893		20,668,207

3 借入金への担保供与について

該当なし

4 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	12,201,151	50,568,538
(うち退職給与引当特定預金)		(1,000,000)
(うち事務所費引当特定預金)	(2,500,000)	(4,500,000)
前払金		57,700
未収金	4,705,525	4,576,620
仮払金		113,277
合計	16,906,676	55,316,135
(うち退職給与引当特定預金)		(1,000,000)
(うち事務所費引当特定預金)	(2,500,000)	(4,500,000)
買掛金		23,674,442
未払金	6,259,862	1,528,929
未払費用		551,524
預り金	658,230	729,763
仮受金		3,548,000
合計	6,918,092	30,032,658
次期繰越収支差額	9,988,584	25,283,477
(うち退職給与引当特定預金)		(1,000,000)
(うち事務所費引当特定預金)	(2,500,000)	(4,500,000)
特定預金除き次期繰越収支差額	7,528,584	19,783,477

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	除却額	当期末残高
器具備品	884,730	0	0	884,730
合計	884,730	0	0	884,730

6 保証債務

該当なし

7 資産および負債の重要な科目別増加額および減少額

該当なし